

8 当面向目指す整備（Ⅱ期）【補足】

1) Ⅱ期整備イメージ

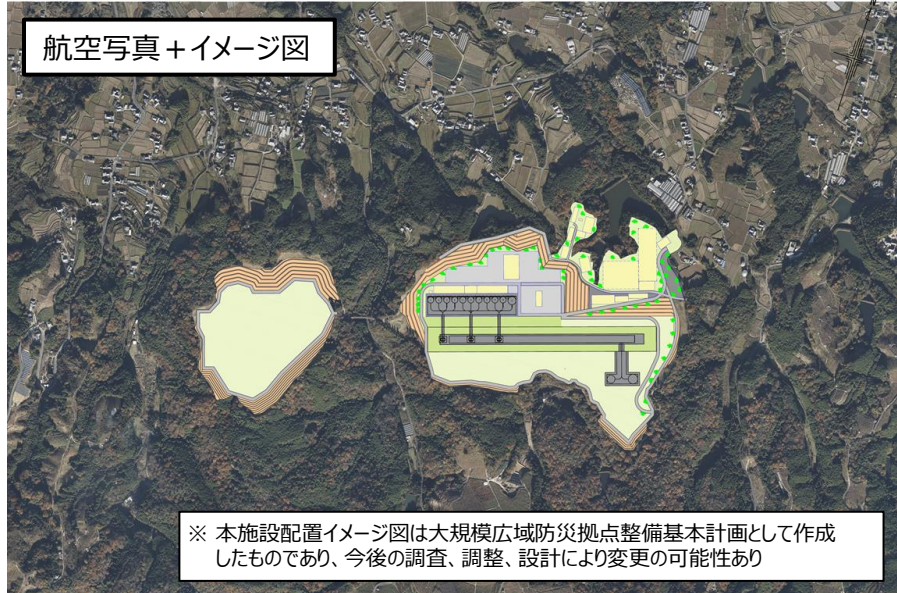
位置図



パース

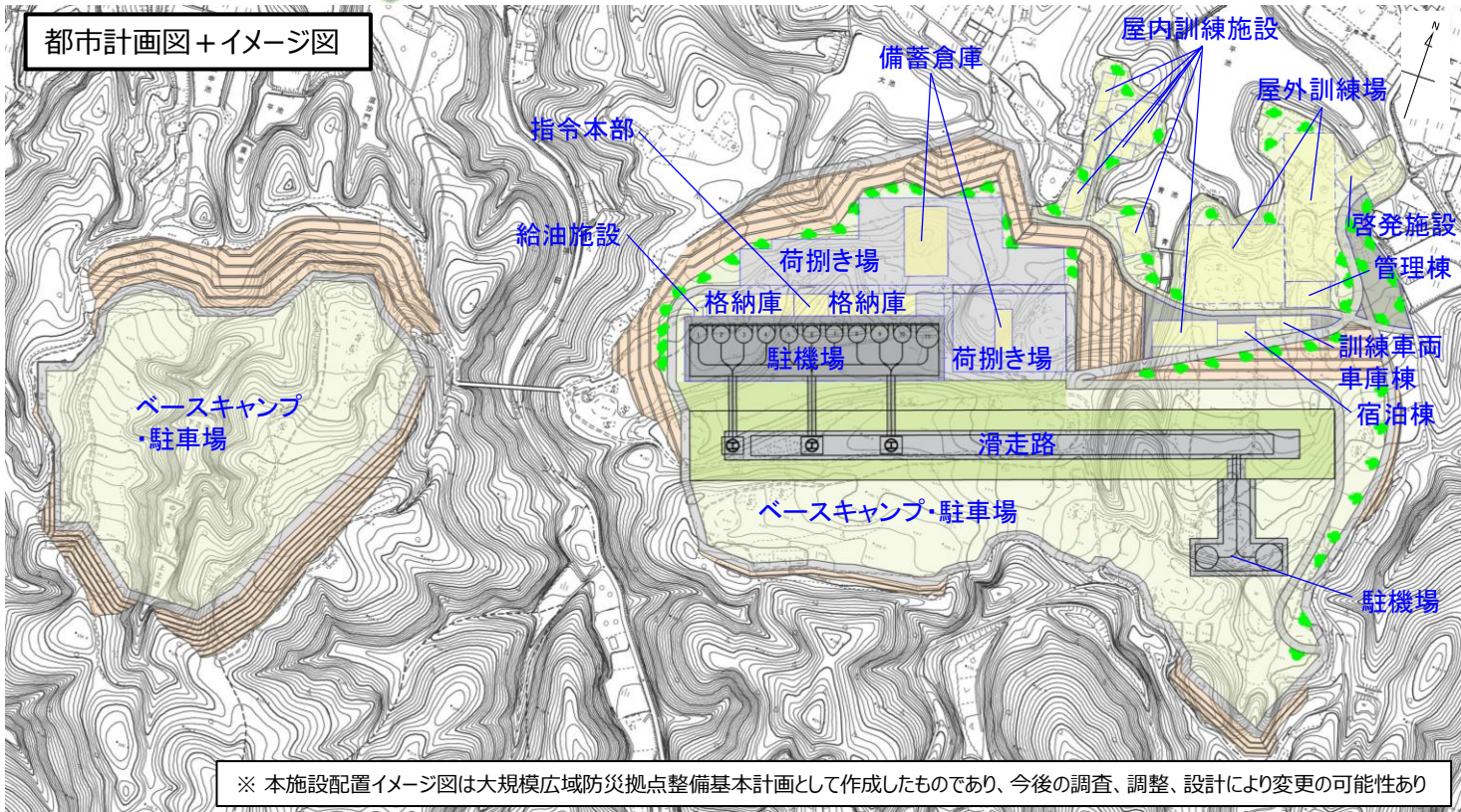


航空写真+イメージ図



※ 本施設配置イメージ図は大規模広域防災拠点整備基本計画として作成したものであり、今後の調査、調整、設計により変更の可能性あり

都市計画図+イメージ図



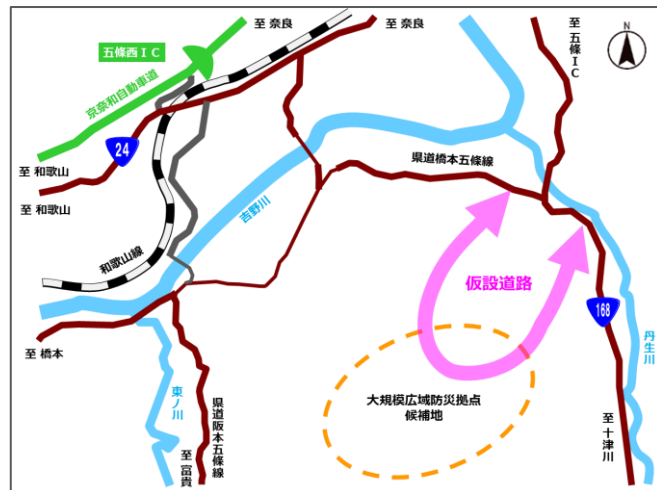
※ 本施設配置イメージ図は大規模広域防災拠点整備基本計画として作成したものであり、今後の調査、調整、設計により変更の可能性あり

2) 仮設道路

- 仮設道路は一方通行とする。
- 防災拠点整備の合意を得たうえで、測量や地質調査などに着手する。
- 測量や地質調査を踏まえて詳細な設計を行い、仮設道路の線形や構造を決定する。
- 防災拠点が完成した後の仮設道路は、五條市と協議する。

【計画諸元】

道路規格	第3種第4級
設計速度	30km/h
車線数	2車線
主な構造	盛土



9 アクセス道路

1) 整備概要

- 国道168号の五條市から和歌山県新宮市の区間は、紀伊半島アンカールートの一部を形成し、第一次緊急輸送道路にも指定されている。
- 京奈和自動車道五條西 I Cから大規模広域防災拠点を経由し、五條市生子までの区間を整備することで、本県南部へのアクセス性および防災機能の向上を図る。

【計画諸元】

起終点	おぶす 五條市生子町 かまのくぼ ～釜窪町	設計速度	60km/h
道路規格	第3種第2級	車線数	2車線
延長	L=約6.0km	主な構造	高架、盛土、橋梁、トンネル



2) 必要性・整備効果

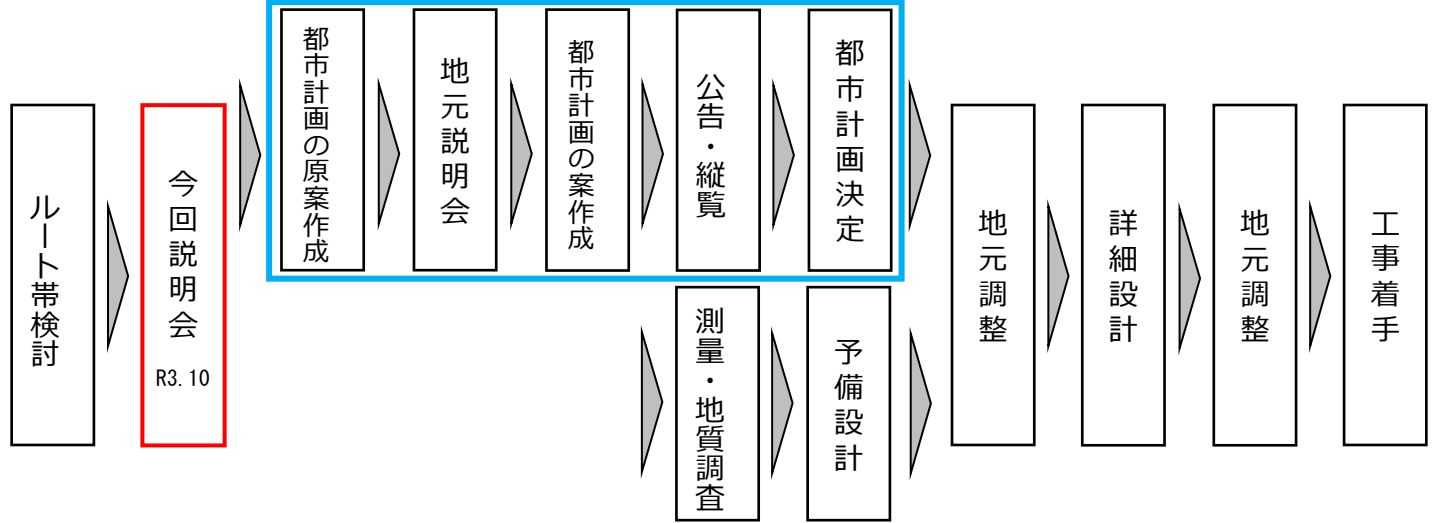
- 災害時における救難救助、支援物資の輸送など、防災機能の強化
- 通過交通と地域交通の分離による交通安全性の向上
- 本陣交差点の渋滞緩和



3) 事業の流れ

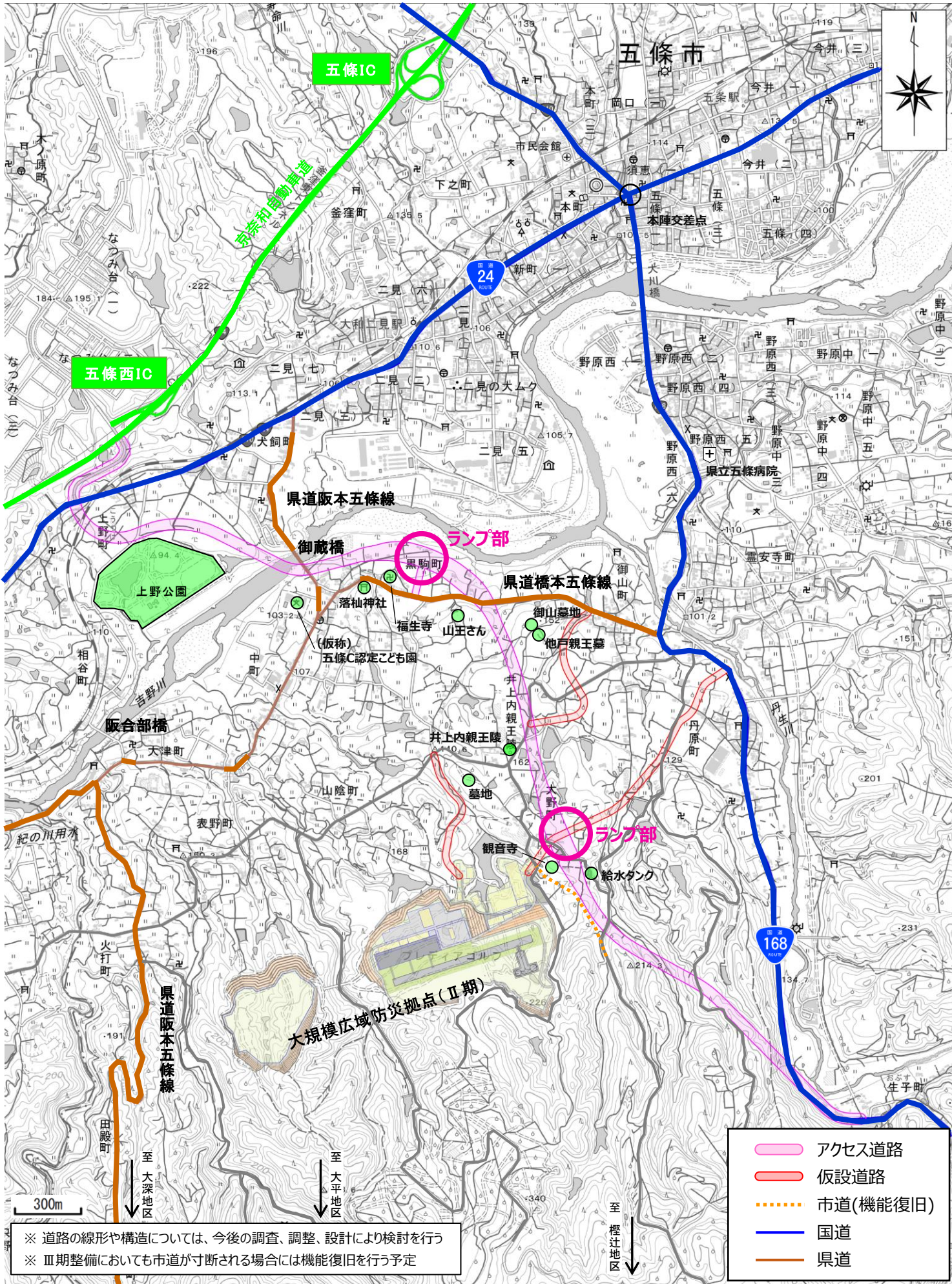
- 防災拠点整備の合意を得たうえで、都市計画決定手続きを進め、調査、設計、用地買収を行い、約10年で工事完了する予定。

都市計画手続き



10 道路計画ルート帯図

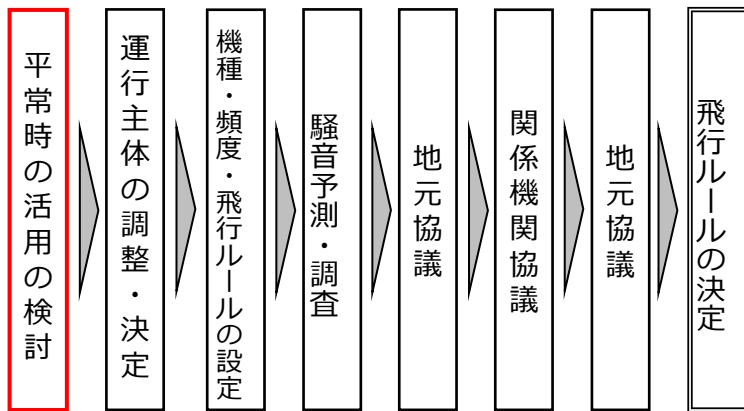
現在計画しているアクセス道路及び仮設道路等のルート帯を示す。今後このルート帯を基に道路線形等の検討を行う。



11 今後の主な検討

○ 防災拠点整備の合意を得たうえで、以下の検討を進める。

1) 600m級滑走路での平常時の運用検討



○ ベル412E【奈良県防災航空隊】 ○ EC135【ドクターヘリ】



○ A109E【奈良県警察航空隊】



2) 治水・利水の検討

- 河川管理者等の関係機関と協議し、調整池の設置や水路改修等の検討を進める。
- 水利組合等の利用者と協議しながら、現地調査を実施のうえ、機能回復等の検討を進める。

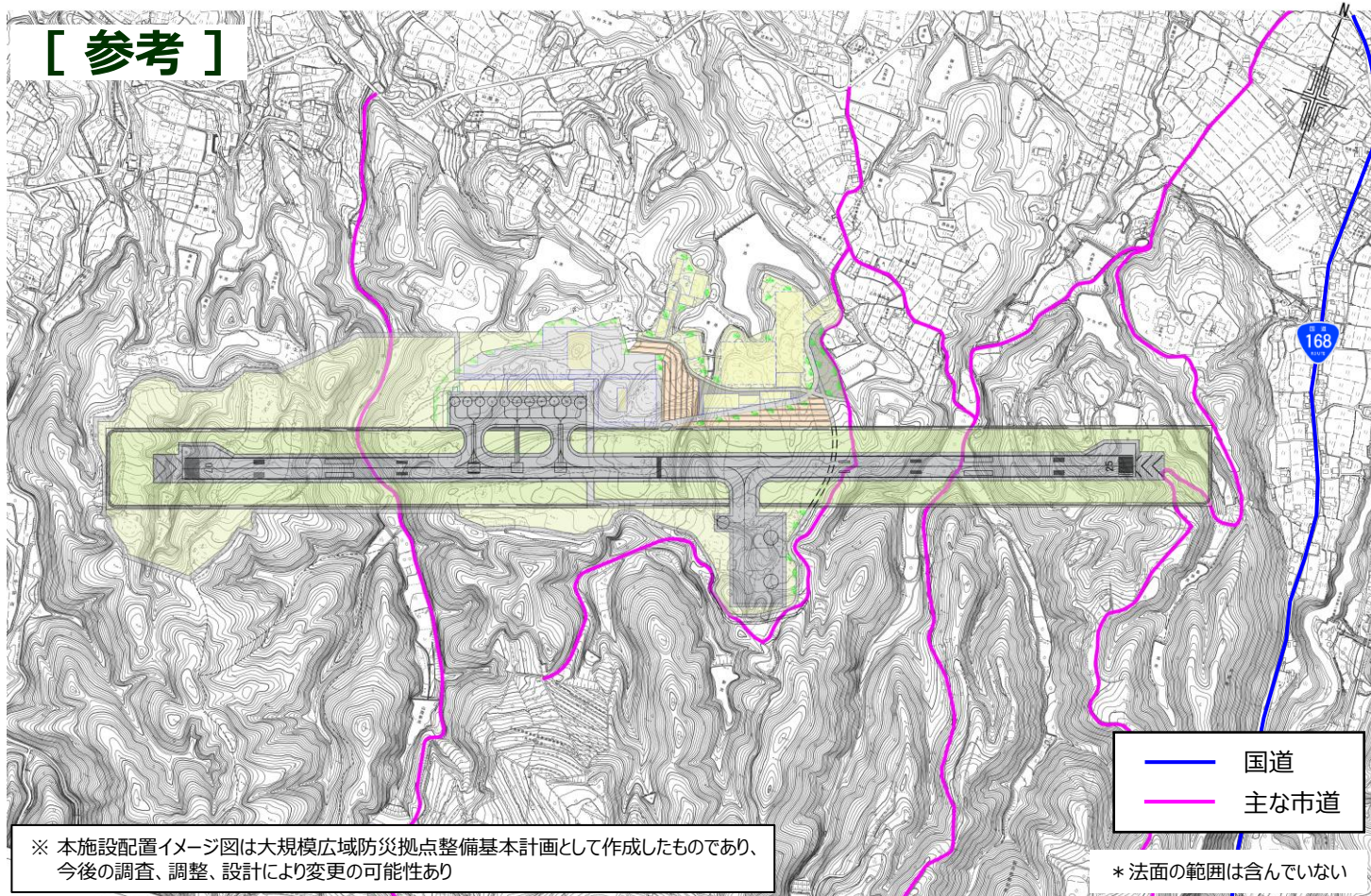
○ 検討対象（例）



3) 盛土の検討

- 安全な盛土構造とするため、技術基準や最新の知見に基づき取り組む。ボーリング調査等により現地盤の地質状況を把握。基準により盛土材の調査試験を実施。排水対策、耐震対策等の詳細な設計を実施。試験施工により品質管理基準等を定めた施工計画を策定のうえ、施工計画に基づき工事実施。

【参考】



※ 本施設配置イメージ図は大規模広域防災拠点整備基本計画として作成したものであり、今後の調査、調整、設計により変更の可能性あり

* 法面の範囲は含んでいない